

◆好調カテゴリ別 金額市場規模前年比一覧

主食		
前月よりも緩やかに伸長したものの、前年比98.5%と前年を下回った。外出自粛要請がなく、外出が増えたことが、主食に限らず果ごもりでの食品需要を押し下げたと推察される。加えて、値上げも相次いでおり、買い控えの動きも見て取れた。「菓子パン・調理パン」：値上げの影響により、販売金額が伸長したものの、販売個数は前年割れとなった。「乾麺」：例年よりも早く梅雨明けが発表され、下旬にかけて気温が上昇したことで、そうめんの販売が伸長した。		
カテゴリ	金額前年比 2022年6月	前月差 2022年6月
主食 TOTAL	98.5	0.3
米		
米飯類	100.1	1.7
食パン		
菓子パン・調理パン	103.7	-1.0
シリアル類		
袋インスタント麺		
カップインスタント麺		
乾麺	102.5	0.9
生麺・ゆで麺		
スパゲティ	100.1	5.5
マカロニ類		
小麦粉		
てんぷら粉		
唐揚げ粉		
パン粉		
ブレミックス		

調味料		
前月よりも伸長したものの、前年比97.4%と前年を下回った。「マヨネーズ」：値上げの影響で販売金額は伸びているものの、販売容量は落ち込んでおり、買い控えも起きていると推察される。「サラダ油・天ぷら油」：値上げの影響で販売金額は伸びているものの、販売容量は落ち込んでいる。とりわけ、キャノーラ油は値上げ幅が大きく、販売容量の落ち込みが見て取れた。		
カテゴリ	金額前年比 2022年6月	前月差 2022年6月
調味料 TOTAL	97.4	2.7
醤油		
味噌		
食塩		
料理酒		
砂糖		
低カロリー甘味料		
シロップ類		
蜂蜜		
ソース		
ケチャップ		
マヨネーズ	110.0	2.3
ドレッシング		
香辛料		
エッセンス類		
焼肉しゃぶしゃぶのたれ		
食酢		
ほん酢		
本みりん		
みりん風調味料		
風味調味料		
削り節		
煮干し		
わかめ・こんぶ類		
つゆ・煮物料理の素		
サラダ油・天ぷら油	112.6	0.2
ゴマ油		
バター		
マーガリン類		
チーズ		
ジャム・ママレード		

※網掛け  
前年比 105%超: 112.6

加工食品①		
前月よりも伸長し、前年比100.7%と前年をやや上回った。冷凍食品は、前年を上回ったものの、値上げの影響もあり、販売個数の伸びは鈍化しつつあると見て取れる。「冷凍水産」：底堅く好調を維持。生鮮品が値上げされる中、相対的に割安感があることも追い風になっていると推察。「冷凍調理」：餃子やハンバーグなどのおかずのほか、主食と主菜がセットになった商品も好調。		
カテゴリ	金額前年比 2022年6月	前月差 2022年6月
加工食品① TOTAL	100.7	3.3
春雨・くず切り		
こや豆腐		
海苔		
ふりかけ		
お茶漬の素		
まぜご飯の素		
カレー		
シチュー		
パスタソース		
シチューベース		
メニュー専用料理の素		
スープ類		
味噌汁・吸物類		
調理用スープ		
冷凍水産	112.3	3.3
冷凍農産	104.4	0.5
冷凍調理	104.4	3.9

加工食品②		
前月よりも緩やかに伸長したものの、前年比96.0%と前年を下回った。「和風食品」：味付き玉子や鯛焼きの好調が継続。手軽におかずやおやつを取れることから、人気となっていると推察。「魚肉ソーセージ」：値上げの影響により、販売金額が伸長したと見て取れる。		
カテゴリ	金額前年比 2022年6月	前月差 2022年6月
加工食品② TOTAL	96.0	0.8
魚介類缶詰		
野菜缶詰		
フルーツ缶詰		
畜肉缶詰		
パウチ入り食材		
和風食品	103.2	1.1
洋風食品		
中華風食品		
畜肉ハム		
畜肉ソーセージ		
魚肉ソーセージ	101.1	-0.8
焼豚		
ベーコン		

加工食品③		
前月よりも緩やかに伸長したものの、前年比96.8%と前年を下回った。ちくわを除く、すべてのカテゴリで前年割れ。ちくわも値上げの影響で販売金額は伸びているものの、販売個数では苦戦が見て取れた。		
カテゴリ	金額前年比 2022年6月	前月差 2022年6月
加工食品③ TOTAL	97.8	0.9
かまぼこ		
ちくわ	103.6	4.0
はんぺん		
揚げ物		
納豆		
煮豆		
佃煮		
もずく・めかぶ		
豆腐類		

菓子		
前月よりも伸長し、前年比100.7%と前年をやや上回った。「キャンディ」：グミの好調が続くほか、タブレットも伸長。下旬にかけて気温が上昇したことで、塩分を含み熱中症予防効果があると訴求するタブレットが人気となった。「栄養バランス食品」：新商品の寄与に加えて、外出増による小腹満たし需要拡大の影響もあると考えられる。		
カテゴリ	金額前年比 2022年6月	前月差 2022年6月
菓子 TOTAL	100.7	2.5
チョコレート		
キャラメル	101.5	8.4
キャンディ	107.6	-0.0
チューインガム		
ビスケット&クラッカー		
スナック	103.2	4.7
煎餅・あられ		
玩具メーカー菓子		
栄養バランス食品	115.6	6.4

嗜好品		
前月よりも緩やかに伸長したものの、前年比98.8%と前年を下回った。「ペビーフード」：外出増の影響により、伸長したものと考えられる。「レギュラーコーヒー」：値上げの影響で販売金額が伸びているものの、販売容量では落ち込みが見られた。外出増も需要を押し下げたと考えられる。豆タイプは、勢いは弱まりつつも販売容量が増加しており、本格化志向の高まりが見て取れる。		
カテゴリ	金額前年比 2022年6月	前月差 2022年6月
嗜好品 TOTAL	98.8	0.4
アイスクリーム		
デザート類		
ペビーフード	103.8	-1.7
インスタントクリーム		
フレッシュクリーム		
ホイップクリーム		
インスタントコーヒー	101.9	2.8
レギュラーコーヒー	108.3	2.4
紅茶		
ココア		
日本茶		
麦茶		
中国茶		

飲料		
前月よりも緩やかに伸長し、前年比101.1%と前年を上回った。下旬にかけての気温上昇で熱中症対策の需要が高まり、スポーツドリンクのほか、果汁飲料のうち塩分を含むことを訴求するものや、美容・健康ドリンクのうち経口補水液などが好調となった。外出増も需要の下支えとなったと考えられる。「乳酸菌飲料」：ストレス緩和等の効果を訴求する、機能的表示食品の商品の好調が続いている。		
カテゴリ	金額前年比 2022年6月	前月差 2022年6月
飲料 TOTAL	101.1	0.5
牛乳		
ヨーグルト		
乳酸菌飲料	129.0	9.1
豆乳	100.2	0.9
100%ジュース		
果汁飲料	116.1	3.6
トマトジュース		
野菜ジュース		
コーラ		
サイダー		
炭酸飲料	100.6	-2.7
コーヒードリンク		
紅茶ドリンク		
液体茶	106.4	0.6
スポーツドリンク	117.5	0.8
美容・健康ドリンク	107.2	4.9
栄養ドリンク	106.6	-3.9
ミネラルウォーター類	108.4	1.4
乳酸飲料		

ペット		
前月よりも伸長し、前年比101.7%と前年を上回った。「キャットフード」：価格帯の高いおやつタイプが好調で、家族の一員としてキャットフードにかかるお金が増加しているものと推察される。		
カテゴリ	金額前年比 2022年6月	前月差 2022年6月
ペット TOTAL	101.7	2.3
ドッグフード	101.0	2.1
キャットフード	105.2	2.5
ペット用品	101.8	2.5

アルコール		
前月よりも伸長したものの、前年比93.7%と前年を下回った。すべてのカテゴリで前年を下回っており、外出増により家飲み需要が縮小したものと見て取れる。		
カテゴリ	金額前年比 2022年6月	前月差 2022年6月
アルコール TOTAL	93.7	1.5
ビール類		
ウイスキー		
ワイン		
日本酒		
焼酎		

日用雑貨		
前月よりも伸長したものの、前年比99.7%と前年をやや下回った。「マウスウォッシュ」：外出増により、口臭ケアの需要が高まっていると推察。「カビ防止剤」：「お風呂場に置くだけで防カビ対策ができる」と訴求する新商品の寄与により伸長。「使い捨てカイロ」：全国的に気温が低かった中旬にかけて、目元ケア用などの商品が好調となった。		
カテゴリ	金額前年比 2022年6月	前月差 2022年6月
日用雑貨 TOTAL	99.7	1.7
歯ブラシ	104.5	2.7
歯磨き	102.0	2.2
マウスウォッシュ	106.9	4.5
義歯用剤		
洗濯用洗剤	104.9	2.1
中性洗剤		
漂白剤	105.6	4.2
柔軟剤	101.8	1.0
台所用洗剤		
住居用クリーナー		
トイレ用クリーナー		
バスクリナー	105.9	3.2
パイプクリーナー		
家庭用手袋		
化学雑巾		
たわし・スポンジ		
水切り袋		
殺虫剤		
防虫剤		
カビ防止剤	129.0	-5.0
芳香・消臭剤		
トイレタンク用洗浄芳香剤		
除湿剤	106.8	18.4
ラッピングフィルム		
アルミホイル	105.1	5.5
食品包装用品	102.5	4.7
アルミガスマット		
ティッシュペーパー		
トイレットペーパー	100.2	4.0
ペーパータオル	103.0	1.8
ぬれティッシュ		
使い捨て紙クリナー		
紙おむつ		
大人紙おむつ	105.4	-0.2
生理用品	102.2	0.1
絆創膏	100.8	-9.2
使い捨てカイロ	111.8	0.6
綿棒		

化粧品		
前月よりも緩やかに伸長し、前年比106.3%と前年を上回った。口紅・おしろい・眉目料などメイクアップ化粧品がとりわけ伸長しており、外出増による影響と推察。パックは、紫外線による肌のダメージをケアすることを訴求する商品が好調で、外出増の影響もあると考えられる。		
カテゴリ	金額前年比 2022年6月	前月差 2022年6月
化粧品 TOTAL	106.3	0.5
クレンジング	102.9	-0.7
洗顔クリーム	106.5	-1.3
化粧水		
乳液	101.5	0.2
栄養クリーム	102.5	-0.6
パック	113.0	1.3
美容液		
化粧下地	103.1	-2.5
ファンデーション	104.7	1.3
おしろい	113.1	-0.1
口紅	149.1	45.0
眉目料	111.5	2.2
マニキュア	105.6	-0.8

医薬品		
前月よりも落ち込んだものの、前年比100.4%と前年をやや上回った。「マスク」：立体型の使い捨てタイプが好調。外出増・気温上昇の影響で、蒸れにくく、おしゃれにもなるといった特徴が支持されたようだ。「ミニドリンク剤・胃腸薬」：外出増により、需要が高まったと推察。「鎮咳去痰剤・口腔用薬」：オミクロン株の症状がのどに出やすいことから、堅調に推移していると考えられる。		
カテゴリ	金額前年比 2022年6月	前月差 2022年6月
医薬品 TOTAL	100.4	-1.8
コンタクト用剤	103.9	1.2
マスク	108.6	8.4
ミニドリンク剤	107.0	-1.3
漢方薬		
総合感冒薬		
鼻炎治療剤	103.8	-19.2
解熱鎮痛剤		
鎮咳去痰剤	106.3	1.4
口腔用薬	106.8	-1.7
胃腸薬	106.4	-2.2
整腸薬	104.1	-3.6
外用鎮痛消炎剤		
皮膚用薬		
目薬	101.6	-4.5
健康食品	102.2	-1.0

この資料は当該データの公開時点での集計であり、最新データと異なることがあります。利用は、原則貴社内のみとし、第三者への開示が必要な場合は、弊社が定める「パネルデータレポート第三者開示・利用基準」に従います。また、弊社に起因しない事由により生じた内容の瑕疵についての訂正・取替えに関する義務は負いかねます。